



2024年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月10日

上場会社名 株式会社 毎日コムネット
コード番号 8908 URL <https://www.maicom.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野田 博幸

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 半田 浩

TEL 03-3548-2111

四半期報告書提出予定日 2024年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年6月1日～2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	14,577	4.9	870	5.7	827	1.0	552	1.3
2023年5月期第3四半期	15,334	14.1	823	49.9	835	68.3	545	66.5

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 570百万円 (3.6%) 2023年5月期第3四半期 550百万円 (66.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	31.34	
2023年5月期第3四半期	30.28	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	28,230	11,309	39.3
2023年5月期	27,237	11,233	40.5

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 11,102百万円 2023年5月期 11,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期		8.00		20.00	28.00
2024年5月期		8.00			
2024年5月期(予想)				20.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	1.2	2,190	5.2	2,100	0.8	1,390	0.6	78.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年5月期3Q	18,000,000 株	2023年5月期	18,000,000 株
期末自己株式数	2024年5月期3Q	377,184 株	2023年5月期	377,184 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年5月期3Q	17,622,816 株	2023年5月期3Q	17,999,655 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業の方向性を明確にし、戦略的投資を促進するため、不動産デベロップメント部門、不動産マネジメント部門及びエネルギーマネジメント部門の3部門からなる「不動産ソリューション事業」と課外活動ソリューション部門と人材ソリューション部門の2部門からなる「学生生活ソリューション事業」の2事業(セグメント)計5部門で事業展開を図っております。

また、2024年5月期の通期連結業績見通しにつきましては、2023年7月13日付の2023年5月期決算短信で公表しており、売上高21,500百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益2,190百万円(同5.2%増)、経常利益2,100百万円(同0.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,390百万円(同0.6%増)を計画しております。

当第3四半期連結累計期間の業績については、不動産デベロップメント部門において販売用不動産の売却は計画どおり進んだものの、前年同四半期に比べ売却件数が減少したため、売上高が大幅に減少しております。また、不動産マネジメント部門においては業績は順調に推移し、課外活動ソリューション部門においては、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあり、前年同四半期に比べ売上高は大幅に増加しており、人材ソリューション部門においても売上高は順調に推移いたしました。

その結果、売上高は14,577,110千円(前年同四半期比4.9%減)、営業利益は870,117千円(同5.7%増)、経常利益は827,095千円(同1.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は552,244千円(同1.3%増)となりました。

① 売上高

当第3四半期連結累計期間の売上高は14,577,110千円(前年同四半期比4.9%減)となりました。セグメント別には不動産ソリューション事業の売上高は11,803,162千円(同9.2%減)、学生生活ソリューション事業の売上高は2,773,948千円(同18.6%増)となりました。また、部門別では、不動産デベロップメント部門は2,010,426千円(同46.1%減)、不動産マネジメント部門は9,549,786千円(同5.6%増)、エネルギーマネジメント部門は242,948千円(同10.1%増)、課外活動ソリューション部門は962,184千円(同61.9%増)、人材ソリューション部門は1,811,764千円(同3.8%増)となりました。

なお、不動産デベロップメント部門における売上高の大幅な減少は、売却した販売用不動産の件数が前年同四半期の3件から2件に減少したことによるものであります。また、課外活動ソリューション部門の売上高の大幅な増加は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある中で合宿旅行等の売上高が増加したものであります。

② 営業利益

当第3四半期連結累計期間の不動産ソリューション事業の売上総利益は2,438,034千円(前年同四半期比5.6%増)、セグメント利益は1,356,951千円(同5.5%増)となりました。

また、学生生活ソリューション事業の売上総利益は1,324,361千円(同8.9%増)、セグメント利益は190,845千円(同26.1%増)となりました。

なお、学生生活ソリューション事業におけるセグメント利益の増加は、主に課外活動ソリューション部門の売上高が増加したことによるものであります。

その結果、各セグメントに配分していない全社費用677,679千円(同10.3%増)を調整し、全社の当第3四半期連結累計期間の営業利益は870,117千円(同5.7%増)となりました。

③ 経常利益

当第3四半期連結累計期間の営業外損益は△43,021千円(前年同四半期は11,859千円)となりました。

なお、営業外損益の減少の要因は主に、有価証券売却益、助成金収入、受取賃貸料の減少によるものであります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は827,095千円(前年同四半期比1.0%減)となりました。

④ 親会社株主に帰属する四半期純利益

当第3四半期連結累計期間の特別利益に受取保険金16,485千円、特別損失に盗難損失12,984千円、法人税等に277,206千円及び非支配株主に帰属する四半期純利益1,146千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は552,244千円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は28,230,160千円となり前連結会計年度末に比べ992,651千円増加いたしました。この増加の主な要因は、現金及び預金が72,472千円の増加、販売用不動産が127,839千円の増加、仕掛品が63,082千円の増加、流動資産のその他が584,050千円の増加及び有形固定資産が135,610千円増加したことによるものであります。

負債合計は16,920,233千円となり前連結会計年度末に比べ915,827千円増加いたしました。この増加の主な要因は、短期借入金が136,500千円の増加、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が651,378千円の増加、流動負債のその他が575,100千円の増加、固定負債のその他が62,145千円の増加、未払法人税等が431,583千円の減少及び賞与引当金が140,320千円減少したことによるものであります。また、純資産合計は11,309,926千円となり前連結会計年度末に比べ76,824千円増加いたしました。この増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益552,244千円、前期の剰余金の処分による配当金352,456千円、中間配当金140,982千円、その他有価証券評価差額金16,872千円及び非支配株主持分1,146千円を計上したことによるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度の40.5%から39.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、不動産マネジメント部門においては3月～4月、人材ソリューション部門においては2月～3月に売上高が季節変動性により集中するため、現時点での変更は行いませんが、今後の進捗状況により開示すべき情報の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,860,512	5,932,984
受取手形及び売掛金	412,374	423,463
販売用不動産	12,271,835	12,399,675
仕掛品	16,335	79,417
貯蔵品	18,229	28,687
その他	867,363	1,451,413
貸倒引当金	△48	△625
流動資産合計	19,446,601	20,315,016
固定資産		
有形固定資産	4,111,386	4,246,996
無形固定資産	788,733	829,442
投資その他の資産		
その他	2,890,799	2,839,138
貸倒引当金	△11	△434
投資その他の資産合計	2,890,787	2,838,703
固定資産合計	7,790,907	7,915,143
資産合計	27,237,508	28,230,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	439,458	491,759
短期借入金	600,000	736,500
1年内返済予定の長期借入金	2,490,896	1,600,096
未払法人税等	442,160	10,577
賞与引当金	289,000	148,680
その他	1,454,780	2,029,881
流動負債合計	5,716,295	5,017,494
固定負債		
長期借入金	8,456,791	9,998,969
役員退職慰労引当金	280,560	290,270
資産除去債務	68,668	69,263
その他	1,482,091	1,544,236
固定負債合計	10,288,110	11,902,739
負債合計	16,004,406	16,920,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	775,066	775,066
資本剰余金	511,183	511,183
利益剰余金	10,047,966	10,106,772
自己株式	△300,014	△300,014
株主資本合計	11,034,203	11,093,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,087	9,784
その他の包括利益累計額合計	△7,087	9,784
非支配株主持分	205,987	207,133
純資産合計	11,233,102	11,309,926
負債純資産合計	27,237,508	28,230,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)
売上高	15,334,972	14,577,110
売上原価	11,810,888	10,814,714
売上総利益	3,524,084	3,762,395
販売費及び一般管理費	2,700,698	2,892,278
営業利益	823,385	870,117
営業外収益		
受取利息	943	836
受取配当金	2,876	2,993
有価証券売却益	17,975	—
投資有価証券売却益	—	3,926
持分法による投資利益	7,716	7,700
助成金収入	25,712	10,523
受取賃貸料	29,964	11,944
雑収入	16,443	14,267
営業外収益合計	101,631	52,192
営業外費用		
支払利息	47,161	50,227
資金調達費用	37,373	37,715
その他	5,236	7,270
営業外費用合計	89,771	95,213
経常利益	835,245	827,095
特別利益		
受取保険金	—	16,485
特別利益合計	—	16,485
特別損失		
盗難損失	—	12,984
固定資産除却損	3,989	—
特別損失合計	3,989	12,984
税金等調整前四半期純利益	831,256	830,597
法人税、住民税及び事業税	251,329	171,802
法人税等調整額	26,515	105,403
法人税等合計	277,845	277,206
四半期純利益	553,410	553,390
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,332	1,146
親会社株主に帰属する四半期純利益	545,077	552,244

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	553,410	553,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,035	16,872
その他の包括利益合計	△3,035	16,872
四半期包括利益	550,375	570,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	542,042	569,116
非支配株主に係る四半期包括利益	8,332	1,146

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,441,164	2,338,976	6,780,141	—	6,780,141
その他の収益(注) 3	8,554,831	—	8,554,831	—	8,554,831
外部顧客への売上高	12,995,995	2,338,976	15,334,972	—	15,334,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,995,995	2,338,976	15,334,972	—	15,334,972
セグメント利益	1,286,400	151,364	1,437,764	△614,378	823,385

(注) 1 セグメント利益の調整額△614,378千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,743,483	2,773,948	5,517,432	—	5,517,432
その他の収益(注) 3	9,059,678	—	9,059,678	—	9,059,678
外部顧客への売上高	11,803,162	2,773,948	14,577,110	—	14,577,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,803,162	2,773,948	14,577,110	—	14,577,110
セグメント利益	1,356,951	190,845	1,547,797	△677,679	870,117

(注) 1 セグメント利益の調整額△677,679千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

シンジケーション方式によるコミットメント期間付タームローン契約の締結

当社は、グリーンローン・フレームワークに基づいた、高い環境性能を有する不動産の取得等に係る資金調達を目的として、2024年3月25日付で株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケーション方式によるコミットメント期間付タームローン契約を締結いたしました。

契約概要

- | | |
|--------------|---|
| 1. 契約金額 | 31億円 |
| 2. 契約締結日 | 2024年3月25日 |
| 3. コミットメント期間 | 2024年3月25日～2026年3月25日 |
| 4. 資金使途 | 学生向け賃貸住宅(グリーンビルディング)の開発資金 |
| 5. アレンジャー | 株式会社みずほ銀行 |
| 6. エージェント | 株式会社みずほ銀行 |
| 7. 参加金融機関 | 株式会社みずほ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社千葉銀行、株式会社武蔵野銀行、株式会社北陸銀行、株式会社第四北越銀行、株式会社群馬銀行、株式会社東邦銀行、株式会社大光銀行 |

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。